



地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な事例をご紹介します。

熊本県内企業に対する面的な支援から、個社別の企業支援について

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、自治体と連携した熊本県内の事業者様への支援をご紹介します。

コロナ禍における支援の一環として、熊本市・熊本銀行・FFGビジネスコンサルティングが連携し、本年3月に「熊本の物産商談会」を実施しました。コロナ禍ということもあり、完全オンラインでの開催となりましたが、出展者様・バイヤー様とも満足度の高い商談会となりました。[図1]

商談会に参加されたうちの1社である「株式会社ふく成」様にも大変満足して頂きました。その後も連携を継続する中で、ふく成様が策定したSDGsの方針をより事業の中に落とし込み、地域社会の持続的な発展に貢献したいとの相談を受けました。

熊本県では、県が主体となり、本年1月に「熊本県SDGs登録制度」[図2]が創設されました。そこで、これまでのふく成様のSDGsの取組み等

図1



県内出展者80社・
全国のバイヤー27社が参加
(2021年3月17日実施)

図2

熊本県SDGs登録制度

熊本県SDGs登録制度とは？

SDGsに積極的に取り組む企業や団体等を「見える化」し、県内における取組みの裾野を広げるため、取組みを進める事業者等を熊本県が登録する制度です。

対象者

熊本県内に事業所等を有し、県内において事業活動を行う、法人、団体又は個人事業主等。(ただし、国、地方公共団体は除きます。)

登録要件

- ①2030年の目指す姿や環境・社会・経済の三側面の重点的な取組みを明確に示していること。
- ②自らの活動とSDGsの17ゴール及び169のターゲットとの関連付けがなされていること。
- ③県税等租税公課の滞納がないこと。
- ④暴力団、暴力団員、暴力団密接関係者でないこと。
- ⑤その他、公序良俗に反する行為及び重大な法令違反がないこと。

登録企業専用ロゴマーク



詳細はコチラ



第2期募集期間

2021年10月1日(金)～
10月31日(日)

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



の整理および方針の明確化を行い、更なる取組みに発展させるため、県の登録制度を活用いたしました。ふく成様は、真鯛・ふぐの養殖／加工／卸／EC販売をされており、SDGsの【目標③・すべての人に健康と福祉を】【目標⑫・つかう責任・つくる責任】等の項目に力を入れています。

【図3】

【目標③】の取組みとして、県内の子ども食堂への支援を目的に（一社）熊本県子ども食堂ネットワークとの連携を本年5月から開始。「子どもたちの未来に食をつなぐ」という企業理念のもと、毎月、食材を提供しています。

【目標⑫】の取組みとして、これまでは製造する過程で廃棄されていた素材を活用した商品開発を行なっています。EC用の鯛の切り身などを製造する過程で出る骨等の新鮮な素材から、エキスのみを抽出した商品を開発中です。

熊本銀行は、同社のSDGsの目標を達成する為に、FFGのネットワークを活かし、ビジネスマッチング等の支援を続けていく予定です。

図3

株式会社ふく成の取組み

SDGsの取組み



子ども食堂への食材提供



鯛の骨等から抽出したエキスから万能調味料となる商品を開発中



天草市・御所浦の環境に配慮した養殖場



株式会社ふく成 会社概要



事業内容：真鯛・ふぐの養殖／加工／卸／EC販売
 住 所：(本社) 熊本県熊本市西区田崎町380-9
 H P: <https://fukunari.jp/>



熊本銀行 ソリューション営業部
 (左から) 上田、大塚
 【お問い合わせ】TEL 096-385-1280

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



【SDGsとは】2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現することを目指しており、下記の17の目標(ゴール)と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。

SDGs Sustainable Development Goals = 誰ひとり取り残さない社会を目指すための 持続可能な開発目標